

## 港区史の構成（案）

平成 29 年度から執筆を開始するにあたり、港区史の大枠の構成について、下記のとおりの内容とします。

### 1 構成の基本的な考え方について（資料編を除く。）

- (1) 構成を 2 編立てとし、いずれも学術的な調査・研究成果を踏まえて編さんに当たります。
- (2) 第 1 編では自然史、ならびに先史から近代までの港区を通史として綴り、第 2 編は現代として、港区誕生から現在までの歩みを、区民生活や行政などのテーマに従い、重層的に綴ります。
- (3) 巻・章等の名称その他の詳細については今後検討することとしますが、執筆開始後も、巻・章等の名称はもとより、章等に属する項目等については、執筆の進展に併せ適宜確認・協議の上、必要に応じて変更可能とすることを基本として編さんを進めます。また第 2 編の章・項目立て、組合せや順位などの詳細については、別途検討します。

### 2 第 1 編について

- (1) **自然の歴史**  
地形、地質、生物、気象等の自然の歴史
- (2) **先史時代**  
旧石器時代、縄文時代、弥生時代
- (3) **古代**  
古墳時代、飛鳥時代、奈良時代、平安時代
- (4) **中世**  
鎌倉時代、室町時代、安土桃山時代
- (5) **近世**  
江戸時代
- (6) **近代**  
明治～港区誕生前まで

### 3 第 2 編について

- (1) **「港区」の誕生**  
芝区・麻布区・赤坂区の三区が統合し港区が誕生
- (2) **街の変化**  
戦後から復興期を経て激変する市街地の歴史（社会基盤整備、交通、再開発などの歴史）
- (3) **人口と社会**  
人口、世帯数、就業構造、区民生活などの歴史
- (4) **議会と行政**  
区と区議会、都区制度などの歴史
- (5) **税財政**  
東京における税財政制度と区財政の歴史
- (6) **環境**  
自然環境（緑化、地球温暖化防止対策など）、生活環境（清掃、公害など）の歴史

(7) 防災・生活安全

自然災害（地震、風水害等）と防災対策、生活安全、警察・消防などの歴史

(8) 産業と文化

港区の産業、企業の経済活動、文化などの歴史

(9) 教育

学校教育、社会教育などの歴史

(10) 福祉と衛生

子ども、高齢者、障害者などの福祉、衛生の歴史

(11) 町域の歴史

区内各町名の起源の変遷など

≪参考 1≫港区史及び新修港区史の構成

構 成	
港区史	<p><b>【上巻】</b></p> <p>第1編 序説                      (第1章) 位置・面積・地勢・地質・気象                      (第2章) 地域                      (第3章) 芝麻布赤坂の三旧区名および港区名の由来</p> <p>第2編 街史                      (第1章) 市街発達の概要 (第2章) 各町の起源と変遷</p> <p>第3編 原始時代、古代、中世                      (第1章) 原始時代 (第2章) 古代、中世</p> <p>第4編 近世                      (第1章) 江戸幕府 (第2章) 町政 (第3章) 戸口                      (第4章) 貢税と七分金積立 (第5章) 産業・経済                      (第6章) 教育・文化 (第7章) 交通、運輸、通信                      (第8章) 上・下水道 (第9章) 災害、救済                      (第10章) 寺社と信仰 (第11章) 花街、娯楽                      (第12章) 幕末の諸事件と港区地域</p>
	<p><b>【下巻】</b></p> <p>第5編 近代                      (第1章) 区制沿革 (第2章) 区会                      (第3章) 行政 (第4章) 戸口 (第5章) 財政                      (第6章) 税制 (第7章) 教育・文化                      (第8章) 産業経済 (第9章) 土木 (第10章) 建築                      (第11章) 港湾 (第12章) 交通・運輸・通信                      (第13章) 公安 (第14章) 社会福祉 (第15章) 衛生                      (第16章) 労働 (第17章) 兵事 (第18章) 災害                      (第19章) 宗教</p> <p>第6編 現代                      (第1章) 港区の発足 (第2章) 区議会・公議会                      (第3章) 行政 (第4章) 人口と世帯数 (第5章) 財政                      (第6章) 税制 (第7章) 教育・文化                      (第8章) 産業・経済 (第9章) 土木 (第10章) 建築                      (第11章) 港湾 (第12章) 交通・運輸・通信                      (第13章) 公安 (第14章) 社会福祉 (第15章) 衛生                      (第16章) 労働 (第17章) 災害 (第18章) 宗教                      (第19章) 花街・娯楽</p>
新修港区史	<p>第1編                      (第1章) 自然の歴史 (第2章) 先史時代 (第3章) 古代 (第4章) 中世 (第5章) 近世 (第6章) 近代</p> <p>第2編 659～1459 頁                      (第1章) 市街の変貌と生活の諸相 (第2章) 人口と社会 (第3章) 議会と行政 (第4章) 税財政と予算                      (第5章) 環境と安全 (第6章) 産業と流通 (第7章) 教育・文化 (第8章) 労働と福祉 (第9章) 町域の歴史</p>

≪参考 2≫頁数について

新修港区史の頁数を基とした頁数の目安です。

**【B 5 版で作成予定】**

編	構成内容	頁案	割合	刊本案	(参考) 新修港区史	
					頁数	割合
第1編	目次等	35	2%	1巻	63	4%
	先史～中世	168	7%		164	11%
	近世	290	13%	2巻	260	17%
	近代	382	17%	3巻	234	15%
第2編	現代	1,374	61%	4巻～7巻	809	53%
合 計		2,249	100%	—	1,530	100%